

ヴィ ヴィ

VIVI™

気持ちよく健康的に



ユーザーガイド

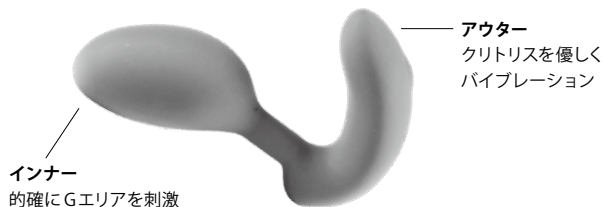
ヴィヴィ (VIVI) について

全ての女性の身体にぴったりフィットするように設計されたヴィヴィ (VIVI) は、体内から誘発される筋肉収縮 (蠕動運動=筋肉の収縮波を伴ううごめくような運動) によりハンズフリーでGエリアとクリトリスを刺激します。シンプルなケーゲル体操 (膣の周りから肛門にかけて8の字に走る骨盤底筋を収縮させる運動) によりヴィヴィの本体は膣の中で動き、インナーはGエリアを、アウターはクリトリスを同時に刺激します。また、刺激しながら骨盤底筋が鍛えられるのもヴィヴィの大きな特徴です。ヴィヴィには「シークレットモード」(ユーザー自身の膣の筋肉収縮) に加え、「マニュアルモード」及び「アクティブモード」による本体のバイブレーション機能が備わっています。マニュアルモードは本体を充電し、本体の操作でバイブレーションを補助する方法です。アクティブモードは専用のスマートフォンアプリを利用し、12種のおすすめバイブレーションの利用や、インナー及びアウターのバイブレーションをそれぞれカスタマイズすることができ、自分に合ったパターンを作ることができます！

スマートフォンアプリでの使用では「膣トレ機能」も付加されています。日常生活を送りながらヴィヴィを挿入し、アプリにより設定した時間帯にトレーニングのお知らせバイブレーションを発生させることができます。スマートフォンを利用していない方には手動での操作も可能で、本体の電源ボタンを素早く押すことで9種の振動パターンが選択できます。

ヴィヴィは身体の動きに合わせて、未知のプレジャーを誘発します。使用によりデリケートなエリアが鍛えられながら、非常に気持ち良い体験をすることができます。ヴィヴィの体験によりあなたの性の世界が広がります！

素晴らしいプレジャーと健康を提供できるのは、アネロスのヴィヴィだけ！



ご使用前



1. 使用前にヴィヴィを2時間ほど充電します。
(詳しくはページ5【充電について】)
2. シリコン製品用のクリーナー、または石鹸水でヴィヴィの本体を洗います。
3. セッションズ等の水溶性ローションをヴィヴィに塗ります。
4. 仰向けになり、両膝を少し上げます。
5. ヴィヴィのアウター部分がクリトリスに達するまで、ゆっくりと挿入します。この時、Gエリアに圧迫感を感じる場合があります。
6. 軽い膣トレ (尿をコントロールする筋肉を収縮したり緩めたりする運動) を行い、身体にヴィヴィの挿入感と動きを馴染ませていきます。
7. お好みの方法を選択、ヴィヴィをエンジョイしてください！

ヴィヴィの利用モード

シークレットモード

シークレットモードはヴィヴィの電源を入れないで使用できるモードです。ヴィヴィの本体は女性の身体にぴったり合うように設計されており、シンプルなケーゲル体操（膣の周りから肛門にかけて8の字に走る骨盤底筋を収縮させる運動）によりヴィヴィの本体は膣の中で動き、インナーはGエリアを、アウターはクリトリスを同時に刺激します。簡単なケーゲル体操だけでプレジャーを得ながら膣トレーニングができます。このモードではバイブレーションがなく音もないため、他人に気付かずにご利用できます。お出かけに最適なモードです。

マニュアルモード

スマートフォンをお持ちではない方でバイブレーションを利用する場合はこちらのモードをご使用ください。電源ボタン「**⏻**」を3秒ほど長押しすると本体が3回ほど振動してスタンバイモードに入り、LEDライトが点滅します。再度、「**⏻**」を素早く押しすとバイブレーションが開始します。更にもう一度「**⏻**」を素早く押しすと3種類のバイブレーションのパターンをそれぞれ3段階の強弱で設定でき、合計9種類のパターンが選択できます。3種類のバイブレーションパターンに応じてLEDライトが点灯、点滅します。電源を切る場合は「**⏻**」を2秒ほど長押しします。

アクティブモード

アクティブモードはスマートフォンのアプリと同期して利用するモードです。ヴィヴィ専用のスマートフォンアプリをダウンロードし、同期することによりヴィヴィの全ての機能が利用できます。12種のおすすめバイブレーションが選択でき、インナー部とアウター部のバイブレーションのカスタマイズ（波型振動と一定振動）や、膣トレのリマインダーの機能が利用できます。

ヴィヴィ専用のアプリは App Store あるいは Google Play よりダウンロードできます。

App Store

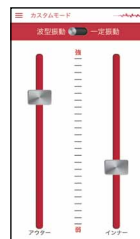


Google Play



スマートフォンのインストール手順に従いダウンロードが完了したら、ヴィヴィのアプリを開きます。この際、ヴィヴィ本体の電源が切れていることをご確認ください。（下記のスクリーンショットをご参考に）

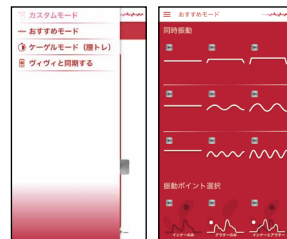
アプリを開き、本体の「**⏻**」を3秒ほど長押しすると3回ほど振動してLEDライトが点滅し、スタンバイモードに入ります。アプリの「本体と同期する」ボタンを押すと素早く同期し、「同期完了」のメッセージが表示され、2回ほど振動します。



同期ができたら自動的にカスタムモードのメニューに移動します。このメニューによりインナー部とアウター部のバイブレーションの強弱が調整でき、振動のスタイルを「波型振動」か「一定振動」に設定することができます。（左のスクリーンショットをご参考に）

メニューを切り替える場合は、左上の「≡」マークを押すと選択メニューが開き、「カスタムモード」と「おすすめモード」と「ケーゲルモード（膣トレ）」の選択ができます。おすすめモードでは同期振動の9種類のおすすめのバイブレーションからご希望の選択が可能です。また、振動ポイント選択では3種類のパターンがお楽しみいただけます。

（右のスクリーンショットをご参考に）





ケーゲルモード(膣トレ)を選択することで、ケーゲル運動の詳細設定が可能です。こちらの「通知の頻度」ボタンをクリックすることで、「10秒」「30秒」「1分」「5分」「10分」「30分」「1時間」の中からお知らせの頻度設定ができます。また、「運動の時間」ボタンをクリックすることで、「1分」「5分」「10分」「30分」「1時間」「2時間」「3時間」「4時間」「5時間」の中から好みの運動時間が選択できます。

また、「通知振動の調整」からはバイブレーションの強弱を自由に設定できます。3つの設定が終わったら「スタート」を押し、トレーニングをスタートしましょう。終了する場合は「ストップ」ボタンを押します。



充電について

ヴィヴィのUSB充電ケーブルは全てのUSB、及びUSB充電器(付属せず)に対応しています。本体のマグネット部とケーブルのマグネット(太い部分)を接続し、USBは充電器に接続して充電します。約2時間の充電でフル状態になり、この状態から最も強い振動で約70分の利用が可能です。

- 点灯 = 充電中
- 消灯 = 充電完了

ヴィヴィのお手入れ

1. ご使用前後にヴィヴィ本体をよく洗浄してください。
2. シリコン製品用のクリーナー、または石鹼水等でヴィヴィの本体をよく洗い流し、タオル等で強くこすらずに、軽くたたくように拭いてください。アルコール、アセトン、石油系のクリーナーは本体を劣化させる可能性がありますので使わないでください。また、煮沸消毒もしないでください。
3. ヴィヴィの最大限の性能を引き出すため、使用の際にはセセッションズ等の高品質の水溶性ローションをご利用ください。シリコン製のローションは本体にキズをつけ、劣化させる恐れがありますので使用しないでください。
4. 高温や直射日光あたる場所に置かないようにご注意ください。
5. ヴィヴィ本体は耐水性のためシャワーや洗面所の洗浄もできますが、本体をお風呂に入れたり、水没はさせないでください。

ヴィヴィ使用の注意事項

炎症やキズのある場合、ヴィヴィの使用はできません。この場合、ヴィヴィの使用につきまして何かご不明・ご不安な点がございましたら、利用の前に必ず医師とご相談ください。

免責事項：アネロスのご利用はお客様の判断と責任でお願いします。

VIMIのご利用で生じたいかなる結果も ANEROS 社及び ANEROS JAPAN 社、正規販売店は一切の責任を負いません。ご使用中、赤み、かゆみ、痛みなどの異常を感じられたときは、直ちに使用をお止めください。

仕様

| | |
|---------|--|
| 素材 | シリコンと ABS 樹脂 |
| サイズ | 38 x 81 x 122mm |
| 重量 | 102g |
| 電池 | リチウム 602030P / 320mAh / 3.7V |
| 充電期間 | 120 分 |
| 利用可能期間 | 100 分 (マニュアルモード) / 70 分 ~ 5 時間 (アクティブモード : アプリの設定によります) |
| 最大音量 | 68db |
| インタフェース | 9 パターンボタン操作 (マニュアルモード) / スマートフォンアプリ |
| 防水性能 | IPX7、一時的に水没しても浸水せず、機器に悪影響はできません。 深度 1 メートル以内の水中に 30 分以内の水没であれば浸水しません。 |

廃棄について

家庭ごみと一緒に捨てないでください。基本的にはリチウム電池・電化製品廃棄専門の業者に廃棄をお願いしてください。



The crossed-out dustbin symbol indicates that these items should not be treated as household waste, but rather brought to the appropriate collection point for recycling electrical and electronic equipment